

かがわ

自治連だより



●山地 ●農地
●住宅街 ●海岸

2024年(令和6年)

3月31日

Vol.28

発行:嘉川自治連合会

編集:広報委員会

住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし

嘉川地区文化祭が全面復活、子どもみこしが4年ぶりに復活

特集 嘉川の子育て支援

令和5年度自治連活動報告	2・3
みんなで育てる嘉川っ子	4・5
地域では今	6
ふるさと嘉川への私の想い	7
私の自治会は	8



嘉川地区文化祭 11月3日(祝)開催

晴天に恵まれ、若い人や出店も多く、大きく盛り上がり、ふれあう笑顔のはじける文化祭となりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。



子どもみこし 9月10日(日)開催

4年ぶりに復活した4基の子どもみこしを嘉川八幡宮まで、そろいの法被を着て「ワッショイ」の掛け声と共にかついで、地域を活気づけました。

〒754-0897 山口市嘉川4651-1

山口市嘉川地域交流センター内

TEL/FAX:083-989-3956 Mail:info@kagawaj.com



ホームページを活用しましょう

パソコンやスマートフォンでご覧ください。

<https://www.kagawaj.com/>

ひとづくり部会

◎部会長 落合 敏行

元気アップチャレンジ

～本郷里山で自然を満喫 お抹茶の接待も～

地域みんなが、心豊かに安心して生活できる“かがわ”を目指して、各種団体へ支援をしています。独自の取り組みは元気アップチャレンジ(年5回)の実施です。

毎回の健康測定、健康運動指導士や健康管理士の講義と実習、本郷里山散策と相原山登山などを行いました。本郷里山では地元の勝屋さんよりお抹茶の接待も受けました。



地域が盛り上がる人材発掘に一役

～仲間との交流そして社会(地域)貢献～

今年度の新規事業は、自治会でのいきいきサロンや交流センターでの文化祭、人権学習など、各種のイベントへの参加や運営に協力する団体に対し、活動費の一部を支援しました。嘉川男性合唱団やおじさんズなど6団体に支援を行いました。予算の関係で漏れた団体もありましたが、

地域の人材発掘や地域活動のより一層の盛り上がり期待できます。



嘉川男声合唱団

環境づくり部会

◎部会長 深野 幸生

「嘉川清掃の日」ゴミ拾い大作戦

昨年11月末の「嘉川清掃の日」ゴミ拾い大作戦の日は、特に寒く参加者も166人と昨年比で少なく、日陰に入ると震えるほどでした。川西中学校の“きずな”のメンバーに受付してもらい、全体で77袋のゴミが回収されました。活動にご参加協力下さった皆様方には、寒さの中、大変有難く感謝しています。岡屋インター側道では、父親や母親が子どもと一



コロナ禍を

令和5年度

緒に家族総出の参加、楽しそうにゴミ拾いをしている姿がとても印象的でした。道沿いの生い茂った草の中からみつかったプラゴミ・ペットボトルは、そのまま放置しておくとも雨風にさらされ側溝へと飛ばされ、川へと流れやがて海洋汚染ゴミへと変化します。

地域住民との一斉奉仕活動を行うことで情報交換の場所として交流や親睦も深まります。次回はぜひ皆さんも一緒に参加してみませんか。



安全づくり部会

◎部会長 秋本 武美

道路水路の維持管理で安全な暮らしを

嘉川地域では、昨年の6月から7月にかけての異常豪雨により、多くの道路や水路等が被災しました。

これらの被災箇所は、市の災害復旧事業により復旧工事が行われました。

近年の自然災害によって家屋の浸水や道路の崩落による通行不良など、不便な生活を強いられた箇所もあります。これらの解消に、関係機関へ改修の要望を行っておりますが、様々な事情により抜本的な解決案が見つからないこともあります。また、今年度は、地区から要望のありました法定外公共物の改修整備について、緊急性のある6箇所を実施しました。

今後も災害に強い道路や水路の整備に向けて要望してまいります。大雨による被害が軽減されるよう、水路の清掃を行って水がスムーズに流れるようにするなど、

日々の維持管理がとても重要となります。



水路の改修整備(稻古屋)

乗りこえて

活動報告

まちづくり部会

◎部会長 松崎 志郎

4年ぶりに再開したふれあい活動

「嘉川に住んで良かったね」と実感できる交流の場づくり「ふれあい活動」を主に活動しました。

4年ぶりの再開となった嘉川子どもみこしは、多数の子どもたちが参加し、地域の行事・文化にふれ楽しい思い出の場となりました。

嘉川ふれあいわくわくウォーキングは子どもから大人まで健康で楽しいイベントを満喫しました。

嘉川の特産品などを紹介する嘉川マーケットを定期的に開催し、出展者・参加者も徐々に増え楽しい交流の場となりました。



おいでませ! 嘉川マーケット

嘉川ふれあいわくわくウォーキング

◎嘉川まちづくり委員会 下永 稔巳

令和5年11月19日(日)に「嘉川ふれあいわくわくウォーキング」を開催しました。

今回は、青少協・嘉川元気会合同の開催で、三世代交流も兼ねて行いました。当日は天候が不安定で風も冷たく、想定していた人数よりも少なかったですが、参加された方には満足いただけたのではと思っております。催しとしては、休憩地点の東本郷で子ども遊び・綿菓子・ぜんざい・ポップコーン・海苔鍋の大盤振る舞いに始まり、皆で協力して揚げた連風は圧巻でした。本郷里山を各年代の方と一緒に散策する事は、人の繋がりを大切にでき、嘉川地域の素晴らしさをより実感出来た1日となりました。

皆様も天気の良い日は近くを散策してみると面白い発見があるかもしれませんよ。



年令あてクイズ

「嘉穂の郷」に祈りを込めて

◎嘉川まちづくり委員会 岡崎 吉恵

令和5年12月17日(日)10時より、嘉川まちづくり委員会メンバーと関係者約17名が嘉川八幡宮に集まり、玉串を奉納しました。地元の「金光酒造」で仕込んだ「嘉穂の郷」純米吟醸酒とにごり酒、合わせて500本を持ち込み、祝詞を奉呈していただき無病息災を祈りました。この500本のみ祈願酒として、金光酒造と地元のコンビニなど、5ヶ所で先行販売しました。

春には田植え、秋には稲刈り、イベントに老若男女、子ども達も集い、このお酒は嘉川の四季を通じて人々を見続けてきました。たくさんの方々の思いや希望が込められている、「嘉穂の郷」。辰年が良い年になりますように、祈願いたします。



自主防災本部

◎副本部長 小池 誠一

日頃の備えが大切～防災学習

令和5年度も学校と連携して小中学校の防災学習を実施しました。小学生は4年生を対象として、実際に避難所となる地域交流センターに、興進小学校は10月5日に路線バスによって、嘉川小学校は10月20日・23日に徒歩で移動して避難所での体験学習をしました。

「災害から命を守ろう」のテーマでの防災学習に続いて、避難所生活用品の体験、非常時トイレの使い方、防災倉庫の見学等、実践的な学習をしました。

中学生の防災学習は、佐山地区自治連合会と合同で、1年生を対象に、「超大型台風が来るぞ、きみたちはどうする」とのテーマで、台風接近時に生徒自らどう行動するかを5人程度のグループで話し合いました。

台風や大雨は事前に予測が可能ですが、地震は予測が難しく突然発生します。元旦に能登半島に震度7の地震が発生し、津波、家屋の倒壊、土砂崩れ、道路破壊等の大災害となりました。災害はいつどこで起きるか分かりません。日頃の備えがとても大切です。



小学校の防災学習

みんなで育てる“嘉川っ子”

◎広報委員会 田中 澄子

嘉川は今「子育てしやすい地域」と注目されています。嘉川地域の子育て支援協力組織がネットワークを組んで、各組織の活動を支援しあっているからです。中でも象徴的なのが嘉川子ども館「しゅっぱっぱ」と川西地区ボランティアサークル“きずな”といえるでしょう。しかし、これらの組織がうまく回り出すまでには先輩や各団体の地道な努力があったことを忘れてはなりません。

嘉川は教育・青少年健全育成施設として「しゅっぱっぱ」の外、3つの保育園、2つの小学校と放課後児童クラブ、1つの中学校があります。地域の人はこれらを温かく見守り各種ボランティアとして協力しています。子ども会も子育ての機関として大きな存在です。子どもの減少もあって子ども会が減っていることは残念ですが、花壇作りや球技大会など各自治会単位で活発に活動しています。

嘉川には高校はありませんが、地の利があつて、その選択肢が多いことは強みです。外の空気を吸った彼らはやがてこの地に戻り、心豊かな嘉川っ子育てに取り組んでくれることを期待しています。



いっしょに遊ぼう! いっしょに話そう!

◎しゅっぱっぱ代表 高井 邦子

生後1ヶ月の赤ちゃんから、夏休みなどには園児・小学生まで年間4,000人もの親子でにぎわっています。子育て中の親子やお守りの祖父母の皆さんが、安心して遊べる友だちづくりが、できる場となるよう見守り応援しています。最近パパも多く来館されています。

しゅっぱっぱの特徴の1つにティータイムがあります。おやつと飲み物で親子もホッと一息です。転入・赤ちゃん誕生の家庭には、地域に出かけるきっかけになればと、ティータイム券をプレゼントしています。

広いお部屋・芝生など施設に恵まれ、多くの地域支援もいただき、活動の力となっています。

地域で立ち上げた市内初の子ども館「しゅっぱっぱ」は来年開館20周年を迎えます。これからもみんなで力を合わせ、仲よく楽しく走り続けていきたいと思っています。

地域に支えられている“みらい”の活動

近年各方面で「子育て支援」の動きが高まっていますが、嘉川では今から30年前に婦人会の子育て活動として幼児学級が始まりました。その後、婦人会から独立した幼児学級と母子保健推進協議会・民生委員児童委員協議会が母体となって、2001年に嘉川子育て支援連絡組織“みらい”が発足しました。それから4年間、子育て支援の必要性を自治連や諸団体と共に市に陳情を重ねた結果、2005年、嘉川子ども館「しゅっぱっぱ」



地域の力になりたい

◎川西地区ボランティアサークル“きずな”代表 伊藤 祐子

“きずな”は19年前、「しゅっぱっぱ」や幼児学級の行事のお手伝いから始まり、「もっと地域を知りたい」「地域の人とふれあいたい」という声が中学生の方からあがって、体育祭や文化祭などにボランティアとして参加するよう

がんばって
まへす!

地域を結ぶ子ども会活動

◎嘉川地区子ども会育成連絡協議会事務局 矢儀 登江

現在、嘉川では、18地区約440人の小中学生の子ども達と、花壇活動や球技大会などの子ども会活動を行っています。

昨年度は、3年振りに球技大会を開催することができました。子ども達の元気な姿と一生懸命に応援する保護者で、体育館は、一つに輝き、熱気に溢れ、とても眩しく、嘉川の夏休みの大切な宝だと改めて感じました。

今年度は、4年振りに体験バスツアーを2月に予定しています。色々と検討した結果、アイススケートの体験をすることになりました。子ども達も喜んで、3日で募集人数に達しました。

今後も子ども達のために、地域の皆さまと共に、子ども会活動を行っていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。 子ども会球技大会優勝 免地・下中野チーム



◎嘉川子育て支援連絡組織「みらい」代表 山本 恵子
を開設することができました。現在は嘉川交流センター内の多目的室で活動をしています。

また、2010年には川西中学校協力のもと、中学生のボランティアサークル“きずな”を立ち上げました。

“みらい”の主な活動として①「しゅっぱぽ」の運営
②川西地区ボランティアサークル“きずな”の育成・運営
③中学生とちびっ子の触れ合いを通しての命の学習
「川西ちびっ子大集合」の実施など、関係組織が補い合って地域の子育て支援に繋がるよう活動をしています。



になりました。そして2010年にボランティアサークル“きずな”として発足し、毎年、志のある中学生が100人以上加入して地域の様々な活動や行事で活躍しています。ボランティアとは何かということをもつて経験し、自分磨きをしながら、自分たちの住む地域をより深く知り、地域の「人の輪づくり」の一員になることを願っています。



“きずな”の皆さんへの期待

◎嘉川婦人会長 安元 寿代

私が婦人会の会長を受けた10年前、すでに“きずな”は嘉川文化祭での婦人会うどん提供にとって、なくてはならない存在でした。それは今もかわらず、毎年10名程度お手伝いをお願いするのですが、1000食近いうどんが地区の皆さんに提供できるのは“きずな”の力がなくては考えられません。「何かすることありますか?」「これしましょうか?」私たち大人もたくさん学ばせてもらっています。これからも“きずな”のみなさんの活躍を期待しています。



安心・安全の居場所へ…放課後児童クラブ 嘉川小学校「おおぞら学級」 興進小学校「仲よし学級」

◎広報委員会 本永 里美

山口市では、働く保護者が安心して子育てができるように、放課後留守家庭児童となる小学生を対象に「放課後児童クラブ」を開設しています。

嘉川小学校の児童は下校後近くの「おおぞら学級」、興進小学校の児童は、嘉川保育園内にある「仲よし学級」へ通い、保護者の迎えを待ちます。現在、「おおぞら学級」は1・2年生が59名で、先生は6名、児童数の増加に伴って嘉川小学校内に開設された「臨時おおぞら学級」には1年生から4年生が33名で、先生は4名です。児童数の増加により、施設の拡充が課題となっています。「仲よし学級」は、1年生から4年生が31名で、先生は2名です。

下校してきた子どもたちは、おやつを食べて、宿題をすませたら、自由に過ごします。指導の先生方は、学校で一日頑張ってきた子どもたちが安全に過ごせるように温かく見守ってくださっています。



おおぞら学級



仲よし学級

地域では 今〇〇

移動市長室 元気ミーティング 嘉川らしい地域づくりを要望

◎嘉川自治連合会長 長掛 実

10月19日、市長と地域の懸案事項を話し合う「やまぐち21元気ミーティング」が嘉川交流センターで開かれ、嘉川地域の特性にあった地域づくりについて要望しました。

嘉川地域は、農山村地域でありながら近年の人口増加により農山村エリアから除外され、小郡都市核に隣接しながらも用途地域外であるため都市的整備の対象外とされていることから、今後、嘉川地域の個性を生かした地域づくりを推進していただくよう要望しました。

また、本郷里山づくりプロジェクトにおける空き家を活用した活動拠点の整備や道路・河川・公園等のインフラ整備についても要望しました。

市長からは、嘉川は農山村地域でありながらも市街化が進む地域として、住居系と田園地域が融合した地域としての施策や、住居系の用途地域の指定を検討すると回答されました。

また、本郷里山づくりは、コミュニティ整備事業として様々な整備手法を地域と協議しながら進めるとし、道路河川等のインフラ整備にも前向きな回答があり、今後関係部署と具体的な協議を進めることとします。



そのままが宝物

◎嘉川地区人権学習推進協議会長 伊川 利通

コール川西、男声合唱団、川西中学校有志合唱団の心に響くハーモニー。そして、講演では、視覚と聴覚両方に障害をもって生まれたお子さんを育てられたお母さんのお話。手探りの中での子育てを、多くの方々への

感謝の思いとともに語られました。悲しさや苦しさのお話ではなく、お子さんの思いに寄り添い、さらに、下のお子さんたちへの思いをも含

めた子育てのお話で、特に「我が子のそのままの姿が宝物です。」という言葉に深い感動を覚えました。全てが『命』の尊さやかけがえのなさ、『生きる』ことの意味や喜びにあふれたお話で、各合唱の歌詞の内容とも響き合い、人の強さ・暖かさ・深い愛を感じる大会になりました。この思いを広げ、誰もが幸せを感じながら安心して暮らせる社会の実現を目指したいと思います。



えがおまんまる「おさんぽマルシェ」

◎長尾 聡子(高見)

「高見さくら公園」で「おさんぽマルシェ inかがわ」を11月に初開催しました。

自然豊かで美しいこの高見に、小さな子どもから年配の方まで、高見の方はもちろん他の地域からも、足を運んで楽しんでもらうイベントがしたいと数年来考えていました。

私がボランティアで参加している長門おもちゃ美術館の協力も得て「おでかけ!おもちゃ美術館」が実現しました。また、「革細工体験」「パン工房」「アジア雑貨店」「くじ付き駄菓子店」など、キッチンカーの「トミーコーヒー」さんも含めて全部で13店舗の方が出店して、盛り上げて下さいました。その際には、ボランティアの方や地域の方々も積極的に参加、協力していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、お天気も良く多くの方にご来場いただき笑顔あふれる幸せな一日を過ごすことができました。



宮本啓一さん(上高根)

『秋の叙勲受賞、おめでとうございます』

◎広報委員会 安元 寿代

「実は、わし秋の叙勲をもらうんよ。」

「え?…すごいじゃないですか!!」

昨年(2023年)の10月初旬だったでしょうか、上高根地区在住の宮本啓一さんから叙勲受賞のことを聞いた瞬間、自分ごとのように嬉しかった私です。

宮本さんは、長年山口市消防団副団長を務めた功績を称えられ11月3日付で瑞宝単光章を受賞されました。



33歳の時、同地区の大先輩である伊藤十郎さんから「おまえ、消防団に入れ」の一言で入団されたそうです。

あれから42年「良く続いたもんじゃ。」と感慨深く言われていました。

「入団して、何が良かったですか?逆に何が大変でしたか?」の質問に「良かったことは皆が寄って飲めることじゃ」宮本さんらしい答え。「夜の火事は周りが見えんし、池や空井戸に落ちたこともあったなあ…」と笑いながら言われていましたが実は現場は私たち素人には想像できない緊張感があるのでしょうか。「わしみたいな者が叙勲をもらっても良いんやろうか」「良いに決まってるじゃないですか!」私は自信を持ってそう思います。いつもたくさんの野菜を軽トラックに積んであちらこちらの皆さんに配ったり、自分で庭の手入れができなくなったお宅の庭の手入れをしたり、それら全てを含めての今回の叙勲受賞だったのではないのでしょうか。

地域のコミュニケーションが希薄になりつつある現在、宮本さんのようなお世話好きの方は貴重な存在だと、お話を聴きながら思いました。受賞おめでとうございます。

思い出の「グリーン広場」

◎藤岡 正義(今井)

何年か前にNHK「心たび」の収録で来山された火野正平さんに遭遇して以来、山口の募集がある度に応募するも採用されない私の心の風景。それが興進小学校のグリーン広場とその頂上から見る景色です。

山陽新幹線は昭和50年3月、岡山-博多間の延伸がされました。開業日、先生方の粋な計らいで、一番列車の通過をグリーン広場の頂上から見ることになりました。小郡駅(現新山口駅)を発車した知らせが校内放送で流され、ほどなくハイライトカラーの0系新幹線が通過しました。一瞬の出来事ですが、小学低学年の私には強烈な記憶として刻まれました。

頂上からは小学校校舎、2号線バイパス、お寺と保育園、嘉川の山々が望めます。都会とは違って50年経過しても大きな変化のない景色は心を和ませます。

片や、グリーン広場そのものは50年間でかなり変わりました。ぶら下がりシーソーで遊んだ場所が開校100周年事業によりステージ状に整備され、後年、日本サッカー協会の芝生化事業により綺麗な芝生広場へと変貌しました。アスレチック広場やジャンボ滑り台は老朽化に伴い使用

停止や撤去を余儀なくされました。嬉しさ半分、寂しさ半分。年月の流れを感じずにはられません。

「学校の敷地内にこのような施設がある事は大変珍しいので、この財産を大切にしたい」と興進教育会の久保元会長が話されていた事を思い出します。芝生や樹木の管理には校務の方だけでなく有志の方々が頑張っておられます。本当にありがとうございます。



情報
発信

《私の自治会は》

若い世代が活躍できる自治会へ

◎稽古屋自治会長 林 喜代美

稽古屋自治会は若い所帯の入会が続き、会員数120所帯と運送会社他の賛助会員も7戸になり、12班で運営する会員数が増え続けている自治会です。

令和5年6月30日～7月1日の豪雨では、自治区内で多くの被害が発生しました。被害状況の把握、自治会員への連絡、及び交流センターへの報告は班長を中心に自治会員、役員が連携して素早く対応できました。

賛助会員の社長からは「会社の駐車場を自家用車の避難場所として使用してください」との有り難い申し入れがありました。美化運動にも協力頂いており、地域活動を通じて賛助会員との連携の大切さを痛感しました。

稽古屋自治会は高齢化が進む一方、幸いなことに若い世代も増えています。年配者の持っている自治会活動のノウハウや知識を活かし、次世代を育成することで、若い世代が活躍し、より安心して住みやすく楽しく活力ある自治会になることを願っています。



つながりの中で

◎下高根自治会長 大屋 正史

この地に転居して以来、たくさんの方々にお世話になっています。地域のことに不慣れな私どもに温かく接していただき、今も様々な面で相談に乗っていただいています。

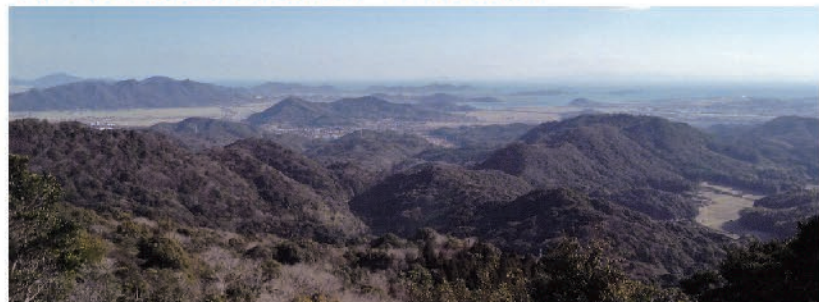
今年度の嘉川地区体育祭では、久しぶりに皆さんにお会いすることができ、さらに自治会に入会された若い御家族にも積極的に参加していただき、たいへん盛り上がりました。また、上高根自治会さんと合同の「高根いきいきサロン」では、スタッフの方のお陰で年6回のイベントが開催されており、皆さんが、歌ったり、ゲームしたり、時には陶芸を楽しんだりされています。自治会のイベントは多くありませんが、地区にある神社の祭りにみんなで取り組んだり、月に一度食事しながら語らう場を設けている班もあつたりするようで、自然と連帯感が生まれているように感じます。



今日は輪投げ大会!

今後も皆さんが安心して過ごせる自治会へのお手伝いができればと思っています。

平原岳登山 本郷出葉ルートが開通!!



本郷里山づくりの一環として、宇部市小野との境にある平原岳の登山ルートが西本郷4人組の奮闘により遂に開通しました。

出葉からゆっくり50分で山頂395.1mに到達します。山頂からは阿知須、名田島、平川まで見渡せます。

出葉地区の散策と併せて平原岳の登山を楽しみませんか。

編集後記



元旦に令和6年能登大地震が発生し、続いて2日には日航機炎上、まさかの想像を絶する大事故が起き、災害発生は突然にやって来ることを実感しました。厳しい年明けとなりました。

さて、本年度は、コロナ禍から解放され多くの人達との交流が復活し、自治連の各部会も計画どおりに活動出来ました、今号は「みんなで育てる嘉川っ子」を特集しました。地域の皆様の子どもに接する溢れんばかりの想いを感じました。これから5か年計画最後の6年度に向けて、より一層充実した活動をめざし頑張っていく決意です。

引き続き地域の皆様のご協力、ご支援をお願い致します。